

自分とふるさとを愛する子を育てる「岩村プラン」

岐阜県恵那市

●活動名

自分とふるさとを愛する子を育てる「岩村プラン」

●関係する学校名

岩邑小学校 岩邑中学校

協働活動 開始年度	平成 # 年度	関係 学校数	2 校	のべ 学級数	20 学級	のべ 児童・ 生徒数	387 人
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習		—		
統括的な地域学校協働 活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動 推進員等の数		配置人数		
	人				2人		
	指定・設置日		ボランティア の数		延べ登録人数	企業・NPO 等との連携	有
学校運営協議会	平成30年4月1日設置		70人				
参考URL	iwamura-e@ena-gif.ed.jp						
●連絡先	恵那市教育委員会 学校教育課				☎ 0573-26-2111		

●体制図

自分とふるさとを愛する子を育てる「岩村プラン」

中学生

小学生

3団体を組みコーディネーター

岩村自治区の各団体

地域行事の活性化

地域の願い「ふるさとを積極的に学び、ふるさとを愛する子の育成」

観光の活性化

● 活動の概要・経緯

岩村自治区では、1小1中である利点を活かし、学校運営協議会がハブとなり、地域自治区と学校とが連携し合うことで、将来にわたって「自分とふるさとを愛する子」を育てる岩邑プランを推進している。小中学校共、学校運営協議会の重点を「学習支援（ふるさと学習）の充実」と位置付け、それを地域と共有しながら、同会の「学習支援ボランティア」が主体となり活動に取り組んでいる。20年程前から、ふるさと学習の根幹として、岩村出身の江戸時代の儒学者、佐藤一斎の書「言志四録」を学ぶことに力を入れており、現在、小中それぞれが学校運営協議会が子ども達の活動をサポートすることで、ふるさと学習の内容が地域へ還元されたり、子ども達と地域が積極的に関わったりできるようになってきた。地域の人は子ども達の学習が地域の文化振興や観光の活性化を支えるようになってきた。」と大いに喜んでおり、地域で活躍する子ども達が確実に育っている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①【地域の行事の活性化】子ども達の学びを地域で発揮する場として、小学校は「言志祭～佐藤一斎祭り～」に参加して群読を披露。中学生は「イベントボランティア(秋祭りの雅楽、女太鼓)」や「城趾の石垣清掃」等へ参加。
- ②【地域の文化振興】地域の伝統文化を学ぶ会「いわむら五つこ」が「岩村体験プログラム」を企画し、子どもの発達段階に応じた体験活動を実施。
- ③【地域の観光の活性化】岩村の町には、「言志四録」の言葉が250ほど木版として掲示されている。子ども達が、西郷隆盛が「言志四録」からとめた「南洲手抄言志録」の掲示に関する地図や現代語訳のデジタルデータを作成。学習支援ボランティアの支援でQRコード化し、観光客にシェア。

【実施に当たっての工夫】

小中学校と地域が共通の願いのもと活動できるように、小中学校の学校運営協議会の重点は「学習支援（ふるさと学習）の充実」であることを確認し合った。またその推進の主体は支援ボランティアのうち、小中共に「学習支援ボランティア」が担当することにした。重点を実現させるため、学習支援ボランティアのメンバーには、コーディネーターの中から特に、小中共通の運営協議会会長、NPO法人「いわむら一斎塾」、地域の伝統文化を学ぶ会「いわむら五っこ」、「笑顔あふれる町部会の代表」が構成メンバーになるように配置した。このメンバー達が3団体（小学校、中学校、岩村自治区）へ働きかけること、団体同士の折衝や外部組織への働きかけがスムーズにできるようにした。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

岩邑小中学校の子ども達は、ふるさと学習の成就感や、地域へ貢献することの達成感を味わうことができています。学校運営協議会の仕組みを工夫したことで、学校と地域が「winwin」の関係を築くことができた。子ども達の学びから振り返ると、この仕組みを構築した後は、NPO法人「いわむら一齋塾」から伝統文化についてより専門的なアドバイスをもらえるようになった。また、子ども達の活動スケールが大きい場合（スマートフォンのアプリケーション化やQRコード化等、これまで学校単独では、取り組めなかったような活動）でも、学習支援ボランティアが主体となり子ども達を支えることで実現できるようになった。現在、ふるさとを愛する子を育てていると同時に、地域の活性化につながっていることを**感じている**。

● その他

岩邑小学校の子ども達が岩村の街中に貼ったQRコードは歴史好きな観光客に大人気。現在、31文にQRコードが貼付してあるが、その数を増やして欲しいという嬉しいリクエストがきている。令和元年の言志祭は10月26日(土)開催。自分の思いを「言志四録」にのせて発表する。



←QRコードをスマートフォンで読み取ると僕たちが現代訳した一斎先生の言葉が出るよ！



中学生による秋祭りの雅楽演奏（左上）と石垣清掃（右上）、小学生による言志祭（左下）女太鼓（右下）

